

令和7年度 鳥取県埋蔵文化財センター 古代体験

あおやよこぎいせき

青谷横木遺跡で出土した

「木とんぼ」を作ろう

日本国内では、平城宮跡（奈良市）で出土した木とんぼが最も古く、奈良時代（8世紀後半）には使われていたことがわかっています。

2番目に古い木とんぼは青谷横木遺跡（鳥取市）で出土したもので、平安時代（11世紀以前）以前に使われていたと考えられます。

青谷横木遺跡の木とんぼは、軸の部分は失われていましたが、羽根の部分が完全に近い形で出土しました。スギの板を材料として、鉄製の小刀で削って製作したと考えられます。

出来上がった木とんぼを空に向かって飛ばしてみましょう。



写真上：復元した木とんぼ

写真下：青谷横木遺跡で出土した木とんぼ

1 開催日時

令和8年2月28日（土）午後2時から午後3時30分まで
（午後1時45分から受付開始）

2 会場

鳥取県埋蔵文化財センター（鳥取市国府町宮下1260番地）

3 募集定員

10名（小学生以下の方は保護者同伴）

4 参加申込

ご参加にはお申し込みが必要です。

（1）申込期間

令和8年2月6日（金）午前8時30分から令和8年2月24日（火）午後5時まで

（2）申込方法

とっとり電子申請サービスでお申し込みください。

5 その他

作業がしやすい服装でおいでください。

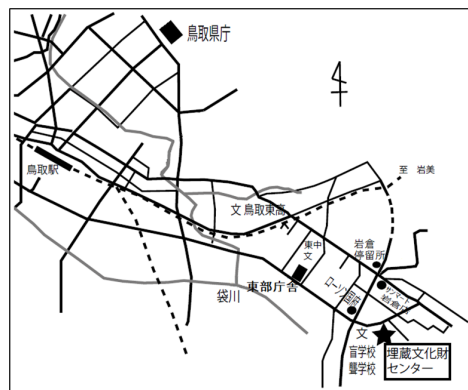
自家用車でお出での方は、敷地内駐車場をご利用ください。



申込フォームのQRコード
やまます

【お問合せ先】鳥取県埋蔵文化財センター 担当 山枡

電話 0857-27-6711



埋蔵文化財センター位置図